

# 地域活性化委員会 事業計画

委員長 小久保 凌

つくば市では、中心市街地の急速な経済成長の一方で、周辺地域では高齢化による人口減少や集落の衰退から様々な問題が生じています。人々の生活圏はつくばエクスプレス沿線に集中し、周辺地域との地域格差が年々広がっていることも事実です。この地域格差を埋めるために、つくば市のシンボルであり県内有数の観光地でもある名峰筑波山を起点に街が観光客で溢れ、住民が行き交い、街全体でつくばの和をもう一度築く必要があります。

まずは、つくば市に住まう私たち自身がつくばを深く知ることで、各地域の新たな魅力を発見し、街中へ発信をする事業を開催します。それぞれの地域にある伝統や歴史を知り、共有することで様々な視点から地域の新たな魅力を発見します。そして、魅力の発信を行うことで「人と人」「地域と地域」が行き交う調和の取れた社会へのきっかけを作ります。次に、継続事業として筑波山地域を起点とした、地域と地域をつなぐ駅伝を開催します。当該事業を通じて、これまで行き交うことのなかった地域にも実際に足を運ぶことで、新たな魅力を感じ取って頂きます。中心市街地・周辺地域をつなぎ筑波山が舞台となる駅伝は、人々が地域間に行き交うきっかけであり、更にはそれぞれの地域の魅力の発見と筑波山地域の観光推進となります。この駅伝は、つくばの街並みを背景に参加チームが一丸となって競い合うことで互いに団結し合う機会となります。参加者の皆様にも魅力の発見にとどまらず、街の魅力を発信して頂きます。タスキと共につくばをつなぎ、人々が今ある地域格差と地域の新たな魅力に目を向けるきっかけとなる事業構築を行って参ります。

地域住民が街の魅力に目を向け、互いに共有し合い、駅伝を通して人々が街中に行き交うことで、観光地としても賑わい注目されます。地域がつながる新しい街の在り方で地域住民が一丸となり自ら進んで発信し、地域格差のない魅力ある街つくばへとつながります。

## 職務分掌

1. 地域の新たな魅力の発見と発信
2. 地域と地域をつなぐ駅伝の開催